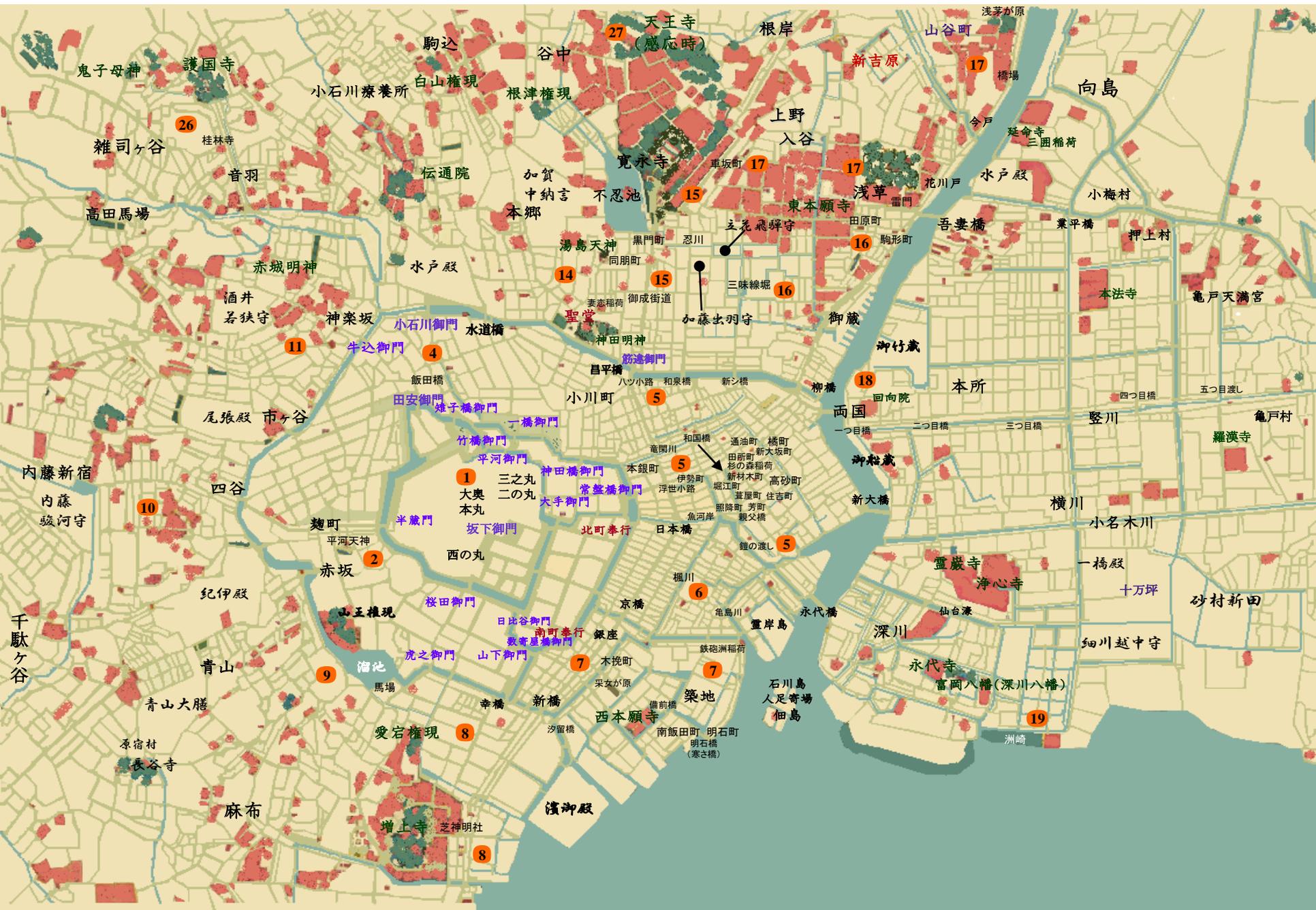


照札触札長屋風聞帳4 富の突留札 坂岡真



うきよこうじ
浮世小路

とおりあぶらちよう
通油町

いいだちよう
飯田町

ほんしろがねちよう
本銀町

はしば
橋場

おとわ
音羽

うおがし
魚河岸

いまど
今戸

たかなわ
高輪

いせちよう
伊勢町

あさくきたはらちよう
浅草田原町

めぐろ
目黒

ほりえちよう
堀江町

したやくるまさかちよう
下谷車坂町

ぎょうにんさか
行人坂

てれふれちよう
投降町

したやどうほうちよう
下谷同朋町

よなみねちよう
米峯町

よしちよう
芳町

したやくろもんちよう
下谷黒門町

ろっけんちややちよう
六軒茶屋町

ぶきやちよう
晝屋町

あかしちよう
明石町

しろかねちよう
白金町

しんざいもくちよう
新材木町

みなみいいだちよう
南飯田町

かんら
甘楽

すみよしちよう
住吉町

こびきちよう
木挽町

おぼた
小幡

たかさごちよう
高砂町

うねめ はら
采女が原

かわさき
川崎

たちばなちよう
橘町

あたごした
愛宕下

ほどがや
保土ヶ谷

しんおおさかちよう
新大坂町

すぎき
洲崎

とずか
戸塚

たどころまち
田所町

あさまさん ざ えもん
浅間三左衛門 (元上州富岡七日市藩士 楠木正繁 横川釜飯)

おまつ (女房 出戻り じゅうぶいちや 十分一屋)、おすず (娘)

またしち じょうしゅうやとみぞう
又七 (おまつの弟)、上州屋富蔵 (糸屋 亡人)

じろきち げ たしよくにん しょうきち
次郎吉 (下駄職人) 一おかめ (後妻)、庄吉 (息子)

やへえ
弥兵衛 (大家)

じんごろう とうりよう かんた
甚五郎 (地主 大工棟梁)、勘太 (若衆)

ゆうげつろうきんべえ いっこくもまたせん
夕月楼金兵衛 (茶屋 一刻藻股千)

やおはんしろう へおすかし
八尾半四郎 (南町定町廻り同心→用部屋手付同心 屁尾酢河岸)

はんべえ
半兵衛 (叔父) 一おつや (妾)

せんぞう
仙三 (御用聞き 廻り髪結い)

うきち
藪にらみの卯吉 (巾着切り親分)

あらきへいだゆう ぶんじ
荒木平太夫 (本所見廻り同心)、文治 (岡っ引)

ならばやしひようご もとおめつけはいかかちくみ
榎林兵庫 (元御目付配下徒組 畳職人和助)

もへい つきこめや ゆきの
茂平 (搗き米屋) 一おとみ (女房)、雪乃 (養女 榎林の娘)

みのすけ
巳助（渡り中間）

ひこはち かつぎやたい そ ぼ
彦八（担ぎ屋台蕎麦）、おきよ（女房 女祐筆）、おみな（娘）

ほり えさきよう おこしものぶぎよう
堀江左京（御腰物奉行）

たけべぐんだゆう ようじんかしら
武部軍太夫（用心頭）

きとう せいのすけ もとこなんどやく しずね
鬼頭誠之介（元小納戸役）— 静音（妻 = およう）

ち ちよ しゅうと うしぞう
千代（姑）、丑蔵（中間）

ほうちん したやまんとくじ おしょう
宝珍（下谷万徳寺の和尚）、およう（妾）

さげんじ おとわ かしもと りゅうじ
左源次（音羽の貸元）、龍二（子分）

つるきち かげとみ だいつき かめきち
鶴吉（影富の第付）、亀吉（弟 茶屋奉公）

えちぜんや
越前屋 おしま（口入屋）、杉太郎（情夫）

おひさ しゃみせんしなん
おひさ（三味線指南）

おなか きんてきや
おなか（金的屋）

しゅんしょう
春 鐘（手相見）

まつだいらすおうのかみ こいけごろう えもん
松平周防守（寺社奉行）、小池五郎右衛門（寺社奉行配下の与力）

むねたかつのしん とうはち
棟田勝之進（同心）、藤八（富の突手）

まがりぶちじんくろう もとおばたはんし
曲渕陣九朗（元小幡藩士）

こまつばらたてわき てんしゅばんかしら きわものし いへい
小松原帯刀（天守番頭）— 佐保（妻 際物師 伊平の娘）